

献血者数・献血量の推移

平成30年度の献血者数は約474万人、献血量は約200万Lでした。図2-2に、平成16年度から30年度までの献血者数と献血量の推移を示します。平成22年度以降、献血者数・献血量ともに減少傾向が続いていますが、医療に必要な献血量を確保できています。

図2-3に平成28年度から30年度までの月別の献血量、図2-4に月別の献血者数の推移を示します。献血者数及び献血量が減少しがちな夏期や冬期には、国、都道府県及び日本赤十字社は、「愛の血液助け合い

運動」(7月)、「はたちの献血」キャンペーン(1~2月)等の広報活動を行い、安定的に血液を確保するよう努めています(図2-5)。

献血血液の確保量の推移をみると、平成30年度は前年度と比べて、輸血用血液製剤用の必要血液量は減少した一方で、血漿分画製剤用の必要献血量が増加しています(図2-6)。今後、血漿分画製剤用の必要血液量は更なる増加が見込まれます。

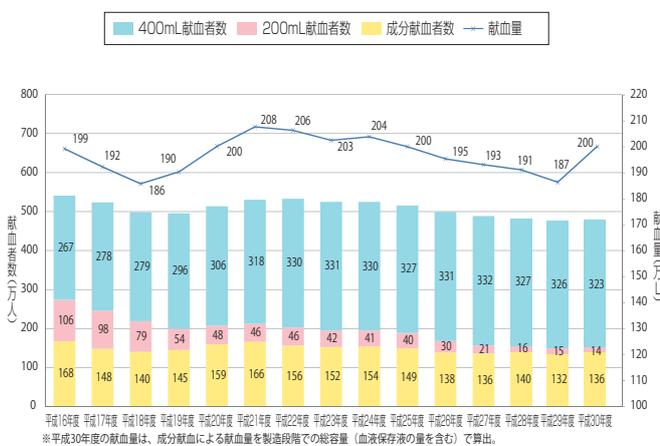


図2-2 献血種類別献血者数及び献血量

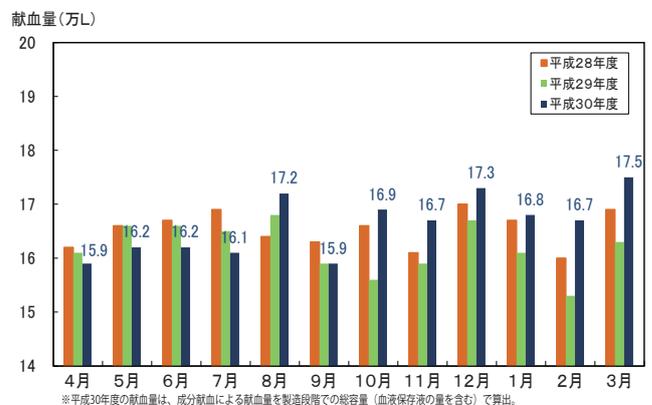


図2-3 月別の献血量の推移

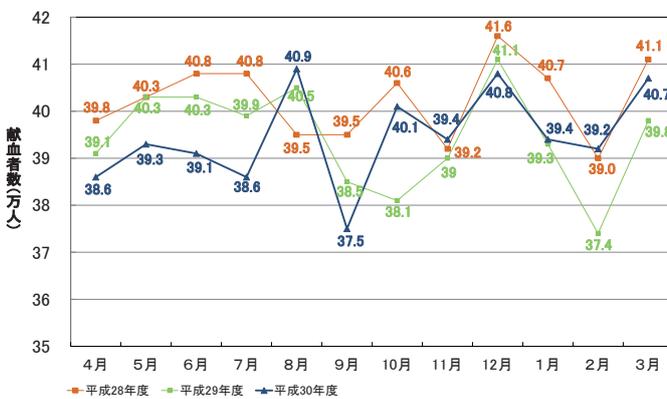


図2-4 月別の献血者数の推移



図2-5 ポスター



図2-6 献血血液の確保量の推移

■献血の種類

献血には4つの種類があります。

| | | | |
|------|----------|------|---------|
| 全血献血 | 400mL 献血 | 成分献血 | 血小板成分献血 |
| | 200mL 献血 | | 血漿成分献血 |

血液中全ての成分を採血する方法です。

血小板や血漿だけを採血する方法です。体内で回復するのに時間のかかる赤血球は再び体内に戻します。